



今年度から、より良い学校づくりを目指して、学校適正規模・適正配置検討事業に本格的に着手しました。上半期の取り組みを紹介します。

問合せ 教育総務課 (☎372-3311・内線4813)

1人1台パソコンを使った授業の様子

児童生徒数・学級数

学校名	5月1日時点		令和9年度推計	
	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数
東部小学校	12	350	12	363
西部小学校	7	187	6	173
大曲小学校	15	455	13	371
西の里小学校	12	337	12	280
北の台小学校	12	330	8	201
大曲東小学校	15	439	12	329
双葉小学校	12	298	11	229
緑ヶ丘小学校	9	222	9	200
東部中学校	11	371	11	354
西部中学校	6	152	3	87
大曲中学校	14	496	13	438
西の里中学校	6	209	6	171
広葉中学校	6	151	6	151
緑陽中学校	4	112	4	113

*令和9年度の推計は、住民基本台帳（令和4年4月末時点）に基づき、現行の学級編制の制度により推計しています。

*西の里小学校陽香分校と西の里中学校陽香分校は本事業の検討対象外のため除いています。

学校の適正規模

小学校 12～18学級 (1学年2～3学級)
中学校 6～18学級 (1学年2～6学級)

(北広島市立小学校及び中学校の適正規模に関する基本方針・令和2年3月)

■ **少子化で学校の小規模化へ**
市では学校の適正な規模として、1学年2学級以上あることが望ましいと考えています。理由は子どもたちが学校で多様な考えに触れ、協力し合い、切磋琢磨する上で適正な集団規模の中で学ぶことが重要だと考えているからです。

しかし現時点で、適正規模を下回る学校があり、今後もこうした学校が増加し学校の小規模化が進む見込

みです。

今年度は、適正規模を下回る学校がある西部地区と北広島団地地区から取り組みをはじめたところです。両地区の小・中学校の1学級当たりの児童生徒数は、平均26人です。

■ 学校施設の老朽化も課題

まちの発展にあわせて、学校を建設してきたため、築50年以上の学校施設5棟を含め築40年以上のものが23棟となるなど、老朽化対策も課題となっています。

教育の内容や効果に影響する小規模化と学校施設の老朽化は、どちらも教育環境として相互に深い関連があることから、一体的に検討していきます。

令和
4年度

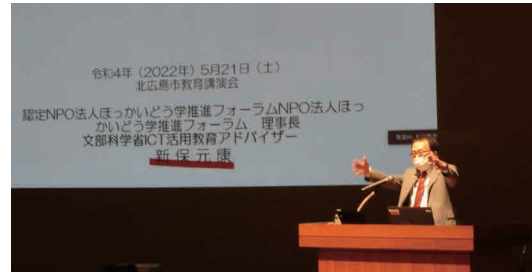
市の取り組み



教育講演会

本事業の始まりに当たり5月21日に講演会を実施しました。

ほっかいどう学推進フォーラムの新保元康さんによる日本の教育を取り巻く現状と課題、今後の目指すべき方向性に関する講演や、帯広市教育委員会による大空学園義務教育学校についての発表がありました。



北広島市立学校適正配置等審議会

保護者、教員、有識者などで構成される審議会を設置し、全市的な観点から、より良い学校づくりについて議論しています。現在、①本市の特性を踏まえた市立学校の配置、②小中一貫教育の更なる推進を図るための方策、③これからの学校施設に求められる機能の3項目について調査・審議しています。

会議は、原則公開です。会議資料や会議録は、市ホームページで公開しています。



保護者や地域との意見交換会など

現時点で、適正規模を下回る学校がある西部地区と北広島団地地区の学校の保護者や地域の方々を対象に、現状と課題の報告と意見交換を実施しました。また、意見交換会に先立ち、保護者アンケートを実施しました。

意見交換会の概要などは、市ホームページで公開しています。



取り組み内容を
発信しています

保護者や地域の方々と一緒に、より良い学校づくりを進めるため、各種取り組みについて、市ホームページや「To Be」を配布して情報発信しています。

「To Be」は英語で「将来の」という意味です。

北広島子どもたちのため、市立学校の未来に向けた取り組みを進めていきます。引き続き、ご理解とご協力をお願いします。



詳しくは市ホームページ「教育委員会↓学校教育」か、「二次元コード」からご覧ください。

